

減災 NEWS

近畿大学奈良病院DMAT災害対策委員会

文責：西辻冬馬

vol21. 2025. 11. 10

みなさん、こんにちは。令和7年9月に開催された奈良県広域医療搬送訓練について報告させていただきます。近畿大学奈良病院から医師：二川 看護師：橋本 事務員：岡本・西辻の計4名が参加しました。

広域医療搬送(SCU)ってなに？

大規模な災害が発生すると、被災地では同時に多数の傷病者が発生し、地域の医療機関だけでは対応しきれない事態に陥ることがあります。

このような場合、被災地外の医療機関へ患者を搬送する必要がありますが、その中継地点の役割を担っているのが**広域医療搬送(SCU)**です。ただ搬送するだけではなく、

症状に基づいて治療の優先順位を決定し適切な治療を施したうえで、自衛隊・消防・警察などと緊密に連携をとりながら安全かつ迅速に搬送することを目的としています。

広域搬送拠点の役割(イメージ)



訓練ではどんなことをする？

今回の訓練は机上訓練と実技訓練の二部構成になっており、机上訓練では講師から出される課題についてグループごとにシミュレーションを行う形式でした。実技訓練では何も無い広場に医療用テントや簡易ベッドを組み立て、発電機・ホワイトボードなどを配置し、広域搬送拠点を設営しました。訓練参加者はDMAT隊員とはいえ、普段は病院に勤務する医療従事者です。慣れない力仕事に悪戦苦闘しながらも、なんとか設営することができました。その後、自分たちで設営した広域搬送拠点を使って傷病者搬送シミュレーション訓練を行うことにより良かった点、悪かった点を話し合い、訓練終了となりました。



実際に訓練で使用した医療用テント・ホワイトボードの写真です。写真では伝わりにくいかもしれませんが、医療用テントは中に簡易ベッドが6台おけるくらいの大きさです。ホワイトボードには災害経時記録(クロノジー)が細かく記載されています。炎天下の中、屋外での活動が多く体力的にもきつかったですが、終わってしまうと時間が足りないくらいの充実度合いです。

奈良県の広域医療搬送(SCU)計画について

奈良県では大規模災害発生時におけるSCUの設置場所として、「橿原運動公園」と「奈良県営競輪場」の2箇所が指定されています。今回の訓練では、奈良県総合医療センターで病院前SCUの展開訓練として実施されました。県全体の広域医療搬送体制を想定しつつ、近畿大学奈良病院としての初動対応力を高める貴重な機会となりました。



ご意見やご感想、ご質問等ございましたら、【患者さまの声】にお願いします。
(患者さまの声は、2階正面玄関前カウンター、再診受付機脇、各デイルームに設置しています。)